

とりいまついせきつうしん 鳥居松遺跡通信

Nº9

(財) 浜松市文化振興財団・浜松市文化財担当課

2008年4月15日

発掘調査の一日を紹介します。

発掘調査というと、考古学の専門家がハケを使って遺物(土器等)を掃除している姿が思い浮かぶのではないのでしょうか。しかし、調査は専門家だけで進められているわけではありません。

鳥居松遺跡の発掘調査には、専門調査員の指導のもと、多くの人たちがかかわっています。

その人たちとは、現地作業にたずさわる作業員、出土した土器を洗ったり整理したりする作業員、遺跡の図面をかいったり遺物の出土位置を測量したりする調査員などです。こうした多くの人たちのチームワークによって貴重な遺跡の全様が明らかになっていくのです。

今回は、発掘現場での一日の作業風景を紹介します。

今日もたくさん掘り出すぞ。



土器が出てくる地層まで掘り下げます。



土器が出てきたよ。



たくさんあるね。慎重に扱わないとね。



丁寧に掘らなきゃいかんね。



ベルトコンベアーが大活躍しています。



大事に取り上げてね。



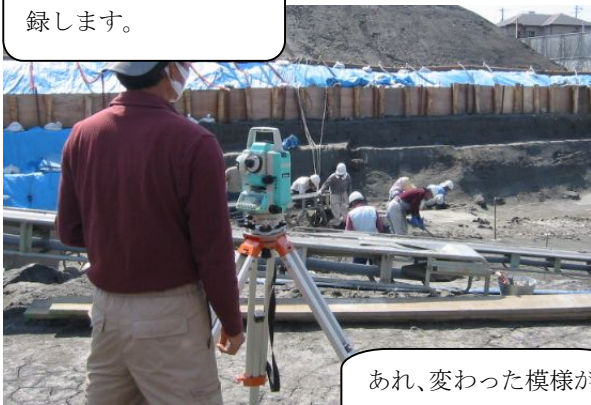
こんなにたくさん出土しました。



きれいな写真を撮らなきゃね。



土器が出た位置を記録します。



おまかせ下さい。

あれ、変わった模様が見えてきましたよ。

土器を洗っています。



土器に番号をつけています。

